

【3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出】 ～多様な「ちば文化」の魅力を引き出し、発信するために～

多様な文化芸術の発展が、新たな「ちば文化」の創造であり、ちばの文化資源です。この地域の文化資源、「ちば文化」の魅力を発信することは、地域の魅力を再認識するきっかけとなります。

また、これまでの文化の概念にとらわれない新たな創造活動の魅力を引き出し、県内外に発信し、ちばをもっと知ってもらうことで、県民の地域文化に関する情報提供を求める声に応えるとともに、地域への愛着を深める機会としていきます。

<施策の展開と主な取組>

⑩多様な文化の発展

若者の文化芸術活動は、これまでの文化の概念にとらわれることなく、未来の文化を創り出す大きな可能性を秘めています。若者による創造的な文化芸術活動をはじめとする既存の枠にとらわれない多様な文化の発展を支援します。

○若者の文化芸術活動の支援

若者の団体が行う創造的な文化芸術活動を支援します。

○市町村と連携した新たな創造活動の支援

県内各地で行われている多様な文化芸術活動や新しい創造活動について、市町村と連携し、情報収集や発信、活動の側面支援を行います。

○文化会館での新たな創造活動の支援

新たな創造活動に対し、文化会館等と連携しながら、活動の側面支援を行います。

⑪「ちば文化」の魅力を発掘と情報の収集・提供

県内各地の様々な文化情報や県民の文化的ニーズをきめ細かく把握して、様々な広報手段を活用し、積極的に情報提供するとともに、「ちば文化」の魅力発信を支援します。

発信にあたっては「ちば文化交流ボックス」をはじめ、「デジタルミュージアム」・「ふさの国文化財ナビゲーション」など、インターネットを活用したシステムを運営します。

○県ホームページや県刊行物等を活用した「ちば文化」の発信

県内各地の文化資源や文化イベント、文化芸術団体、文化ボランティアなどの情報を掲載している「ちば文化交流ボックス」や、観光分野等様々な分野の刊行物等を通じて、「ちば文化」に関する情報を発信します。

○県内の文化財の概要と所在地等の情報提供

県内の約2万9千箇所の埋蔵文化財包蔵地、国・県指定の文化財のデータを収録している「ふさの国文化財ナビゲーション」により県内の文化財の情報を提供します。

○博物館・美術館の収蔵資料の情報提供

県立博物館・美術館の収蔵資料に解説を付し、インターネット上でストーリー性のあ

る展示を行います。

○市町村と連携した情報収集と提供

県と市町村等が連携し、各々で収集した情報を共有し、広く県民へ情報提供します。

⑫「ちば文化」の魅力を発信する文化事業の充実

「千葉・県民芸術祭」や「県民の日」行事等の様々な機会を利用して、多彩で個性あふれる「ちば文化」の魅力を国内外に発信し、「ちば文化」の魅力にふれる機会を提供することで、県民が郷土に愛着と誇りを感じ、千葉県民のアイデンティティを醸成します。

○「県民の日」の機会を利用した、「ちば文化」の紹介

6月15日の「県民の日」を中心とした行事等を利用して、多くの県民が「ちば文化」の魅力にふれ、郷土に愛着と誇りを感じることができる機会を提供します。

○様々な事業を通じての「ちば文化」の国内外への発信

「千葉・県民芸術祭」や毎年秋に開催される「国民文化祭」への文化芸術団体の参加をはじめ、国内外で開催される様々な事業を通じて「ちば文化」を紹介するとともに、様々な媒体を活用して「ちば文化」の魅力を広く海外に紹介し、より多くの人々が千葉県を訪れ、「ちば文化」にふれることを目指します。

また、全国的にも水準の高い、オーケストラや吹奏楽、合唱をはじめとした音楽分野については、関係機関と連携し、その魅力を県内外に発信します。

○県内外の文化施設による共同事業・広報協力

それぞれの文化施設の持つネットワークを活用し、県内外の文化施設との共同事業や広報協力を通じて、県内外へ「ちば文化」を発信します。

○国際交流事業の実施

海外の文化芸術団体等との交流の場を通じて、広く「ちば文化」を紹介し、発信します。

<成果指標>

目標項目	現状 (過去5年間の平均値)	目標 (平成32年度)
「ちば文化交流ボックス」へのアクセス件数	約20万件	増加を目指す
多様な文化や創造活動への市町村等の取組事例	多様な文化や創造活動への市町村等の取組事例を収集・公表します。(定性)	